

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 2 月 17 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部・経営学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 2 月 2 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	スペイン
留学先大学	バレンシア大学(日本語名) Universitat de Valencia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語・スペイン語 / 英語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 2 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 経済学部 現地言語での名称: Facultat de Economia ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中旬～1 月下旬 2 学期: 1 月下旬～6 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	45,000 人
創立年	1499 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 160 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	4,750	755,393 円	
食費	4,500	715,635 円	
図書費	100	15,903 円	
学用品費	20	3,180 円	
携帯・インターネット費	75	11,927 円	
現地交通費	20	3,180 円	学生無料(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100	15,903 円	
旅費(留学中)	3,288	523,193 円	旅行の諸費用
被服費	2,000	318,060 円	
医療費	0	0 円	
保険費	314	50,000 円	形態: 現地の保険と明治大学海外旅行保険
渡航旅費	1,100	167,400 円	
ビザ申請費	63	10,000 円	
雑費	0	0 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	16,330 (= 2,598,266 円)	2,598,774 円	
総計(A+B) ※円		5,188,040 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地： 目的地： マドリード 経由地： カタール

復路 出発地： バルセロナ 目的地： 北京 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： カタール航空 料金： 82,000

復路 航空会社： 中国国際航空 料金： 85,400 ∴合計： 167,400

航空券購入方法

☒ 旅行代理店(店名： 去哪儿网)

☐ インターネット(サイト名：)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前： Resa) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学のウェブサイト

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は一人部屋を選びましたが、部屋の広さは約 40 畳で、専用のバスルームとキッチンも備わっています。入居時に冷蔵庫やテレビ、電子レンジ、鍋や食器など、生活に必要なものがすべて揃っていました。それ以外、寮内の設備も充実で、食堂、自習室、ジム、ゲームルーム、ランドリーなどがあります。さらに、大学や語学学校にもとても近く、徒歩 5 分で行ける距離です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

バレンシアで洪水が発生した際、学校は私たちのようにスペイン語がわからない者に対して、危険情報を英語でメールで知らせてくれる。また、盗難に関しては発生していないが、注意が必要だ。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

全く繋がらない時がなかったが、スペインと他の多くのヨーロッパの国々では、室内にいるときにデータが使えないことがよくある。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

いつも国内から持ってきたクレジットカードを使っている。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

1. 自炊が好きな人には調味料を用意することをお勧め
2. 変換プラグ
3. 近視の場合はコンタクトレンズを多めに用意すること
4. 薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foreign Trade	
科目設置学部・研究科	経済学部
履修期間	2024 年 9 月～2025 年 1 月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とグループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	Prof. Juan A. Sanchis Llopi, Prof. Jimena Salamanca
授業内容	これはマーケティングおよび外国貿易の分野に位置づけられる科目である。本科目の一般的な目的は、外国貿易活動に従事する企業の特定のニーズに応えることである。本科目は、現代の企業、特に中小企業(SME)における外国貿易の重要性を理解すること、外国貿易業務を遂行するために利用可能な手段を知ること、そして、それらの手段や技術を適切かつ効果的に活用できるようになることである。
試験・課題等	出席、毎回のワークシート、プレゼン、期末テスト
感想を自由記入	講義内容は貿易の実務に直結する知識が多く含まれていました。特に国際取引のリスク管理や交渉術が印象的で、今後の勉強に活かしたいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Business English III		
科目設置学部・研究科	経済学部	
履修期間	2024 年 9 月～2025 年 1 月	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式とグループワーク(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	Prof. Francisco Ivorra, Prof. Alfredo Ibanez	
授業内容	この科目がカリキュラム内で持つ形成的な重要性は、学生の教育の基盤となる二つの柱、すなわち英語を含む言語の習得と、国際的な視点を持つ内容にある。	
試験・課題等	出席、ビジネスプラン、期末テスト	
感想を自由記入	ビジネスでのコミュニケーションスキルが向上し、とても役立つと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Communication in the English language for tourism III			
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	2024 年 9 月～2025 年 1 月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	グループワーク (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回		
担当教授	Prof. Terriann Jeffery, Prof. Miguel Jordan		
授業内容	これは初級レベルで導入された専門知識を強化・発展させるとともに、より高度なコミュニケーション能力の向上を目的とした科目である。本科目は、観光分野における英語での国際的なコミュニケーションに関連する専門英語(ESP)の内容を強化する。		
試験・課題等	出席、2 回の Writing Test、グループワーク、期末テスト		
感想を自由記入	ツーリズムにおける英語コミュニケーションの授業は、観光業界での実用的な会話や表現を学べ、異文化理解も深まり、非常に有意義でした。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	10 月: IELTS 試験と出願、12 月: 選考と面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	5 月: 入学許可証取得 6 月: 滞在先確保 7 月: ビザ取得
	8 月 ～ 9 月	8 月: 帰国、航空券購入 9 月: 出発
	10 月 ～ 12 月	11 月: 中間試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	1 月: 期末試験 2 月: 帰国
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

交換留学に行く前、私はいつもスペインという国に行きたかった。普段からスペイン語の歌をよく聞いたり、スペイン語のドラマを観たりしていたから、スペインは情熱的で開放的な国だというイメージを持っていた。だからこそ、いつか行くチャンスがあればいいなと思っていた。ちょうど明治大学の交換留学プログラムがそのチャンスをくれて誠にありがたい。バレンシアという海があり、全年晴れた天気が続く素晴らしい都市を選んだ。

バレンシアで半年間生活して、私はますますこの都市が好きになった。ここでの天気、気温、文化、人、音楽、すべてが好きだ。スペインに交換留学に来たことは、人生で最も正しい選択だったと思う。私は本当にここで自分を解放した気がする。こんなに自由な気持ちになったことはなかった。何を着たいか、周りの目を気にせずに好きな服を着ることができるし、大笑いしたいときには思いっきり笑って、飲みたいときには遠慮せずに飲んで、メイクしたくないならしなくてもいい…昼まで寝て自然に目が覚めたらシャワーを浴びて、ゆっくり朝ごはんを作って食べてから授業に行く。授業後には、暇だったら友達と一緒にバーに行行って飲んで帰る。ここでの生活はすべてがゆっくりでリラックスしていて、本当に夢のようだと思う。

バレンシア大学に通っている間、私は4つの授業だけを選んだ。こちらの授業の進め方は明治大学とは少し違う。1つの授業は毎週2回に分けて行われ、1回は理論的な授業、もう1回は実践的な授業で、グループディスカッションのような形だ。授業の難易度は選択した科目によって異なる。

私は個人的にこの国を楽しむ時間や他の国に旅行する機会を増やしたいので、あまり多くの授業を選ばなかった。交換留学中には、スペイン国内を旅行するだけでなく、フランス、イタリア、オーストリア、ハンガリーにも観光した。いくつかの場所は友達と一緒に行き、いくつかの場所は一人で行った。一人でヨーロッパを旅行するのは初めてだったので、自己の勇敢さと独立性に気づき、とても楽しむことができた。

最後に、スペインに来る学生には、事前に少しスペイン語を勉強することをおすすめする。ここでは英語も通じるけれど、個人的な経験から言うと、私のスペイン語レベルはただ A1 だ。道を歩いているときや店で親切な人に声をかけられるたびに、流暢にスペイン語で会話できない自分が嫌になる。だから、スペイン語ができるといいと思う。また、もう一点言いたいことは、一学期でも一年でも、あっという間に過ぎてしまうので、これから留学に来る人たちには、毎日を大切にしてほしいと思う。正直、帰国前の1ヶ月はすごく寂しかった。ここでたくさんの良い友達を作って、素晴らしい思い出ができたから、別れは私にとって本当に辛かった。しかし、私たちにできるのは、この現実を受け入れ、より良い未来に向かって進みながら、心の中でこの思い出を大切にしていけることではないだろうか。